

元気いっぱい 友だちいっぱい
すすんで学ぼう 夢つぼもう

横浜市立美しが丘小学校 平成29年9月29日



美小通信 6

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 畠山 真
青葉区美しが丘2丁目29
電話(901)3408

体験からの学び

校長 畠山 真

彼岸のあたりから、道ばたには曼珠沙華（彼岸花）が咲き出し、今年も秋の彼岸がやってきたことを知らせてくれます。季節は、9月から天高く馬肥ゆる秋の10月に入ります。

9月は学校行事が体験学習をはじめ様々ありましたが、10月も全校遠足などいろいろと予定されています。50周年の記念事業として10月14日（土）に「カウントダウンフェスティバル」、21日（土）には「防災のつどい」が予定されています。ぜひ、児童の皆さんには学校行事だけではなく地域の行事にも参加して、美しが丘の地域を知り、地域のことを自分の目で確かめ、経験してほしいと思います。

さて、9月は、4・5・6年の宿泊体験学習がありました。4年生は、26・27日と上郷宿泊体験学習に行ってきました。児童にとっては初めての宿泊体験学習で準備から当日までいろいろと大変だったと思いますが、協力して楽しく生活していました。

5年生は、7・8日と今年度から場所が変更になった高尾宿泊体験学習に行ってきました。高尾山に登ったり、キャンドルファイヤーをしたり、初めて泊まった高尾の森わくわくビレッジで伸び伸びと生活していました。二日目の高尾森林ふれあい館での林業体験では、丸太をのこぎりで切ったり、係の方の案内で山を歩き草花の名前を教えてもらったりして、日頃できない貴重な体験をしました。

そして、6年生は20日から三日間、小学校で最後の宿泊で日光修学旅行に行ってきました。東照宮の陽明門では、新しくなった陽明門や三猿を見ることができました。日光東照宮は、三代将軍徳川家光が家康のために建てたもので、766年に勝道上人によって開かれたと言われる日光（日荒）が、多くの観光客を迎えて現在に至っています。家康の墓の手前にある207段の階段を登って行く途中に看板があります。「人の一生は、重き荷を負うて遠き道をゆくがごとし。いそぐべからず」家康の遺したこの言葉が、いつも階段を登るたびに心に響いてきます。人間急いではない。一步一步確実に歩いていくことが大切だということを肝に銘じなければと思いました。

6年生は、東照宮や華厳の滝、足尾銅山、富弘美術館等を見学し、様々なことを感じたと思います。修学旅行というのは、文字通り学問を修めるという意味があります。6年生の人たちは、一生懸命に見て、自分の身をもって体験し学んだことと思います。ぜひ、この経験を生かして中学校に進んでほしいと思います。

今回、3学年の宿泊体験学習に参加して、子どもたちは様々なことを経験し、学び感じ取ったことと思います。「なすことによって学ぶ」と言いますが、体験したことを自分自身の経験として、今後の学習に生かしてほしいと思います。